

私たちと情報

情報活用スキル編／情報社会探究編

監修：堀田龍也（東北大学大学院情報科学研究科 教授）

編集：高橋純（東京学芸大学）、佐藤正寿（東北学院大学）、渡邊光浩（鹿児島女子短期大学）、佐藤和紀（信州大学）

価格：各 550 円（税込） B5 判・オールカラー・72 ページ

G I G A スクール時代の子どもに必須の力を育む！！

「学年別」から「目的別」へ

改訂新版（2021年発行）

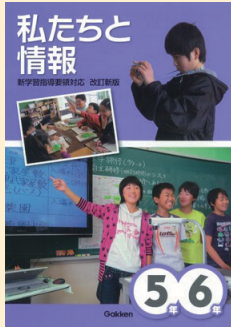
情報活用スキル編

情報社会探究編

現行版（2010年改訂）

3・4年

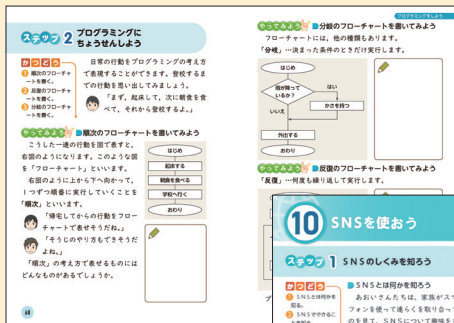
5・6年



学年による分冊から、「スキルを身に付ける」「スキルを使って探究する」という目的による分冊へ変更し、付けたい力やスキルに応じた学習活動の実施が容易に。

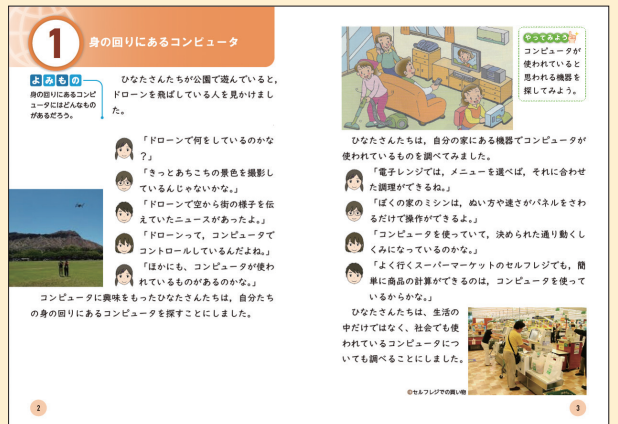
スキル 情報活用スキルを身に付ける

探究 情報活用スキルを使って探究する



情報活用の様々なスキルを体験的に身に付ける。個々のスキル習得のための活動を抜き出してあります。

習得したスキルは、各教科等での学習の基盤となり、各教科等の授業に組み込むことも可能。子供たちの資質・能力の向上に寄与。



身に付けた様々なスキルを駆使して、課題解決型の学習を行う経験を重ね、社会の諸課題を解決する力をつける。



監修者より

社会で必要不可欠な情報活用能力を 計画的に育むために

東北大学大学院情報科学研究科教授 堀田龍也

GIGAスクールで、子どもたちは1人1台のパソコンやインターネット、クラウドを日々の授業で使うようになります。これらを学習の道具として使いこなすには、情報活用能力が不可欠です。学習指導要領でも「学びの基盤となる力」と位置づけられ、各教科の教科書もそうした力が身に付いている前提で作られています。

しかし情報活用能力は特定の教科だけに関わるものではないため教科書がなく、いつどんな力を育めばいいのかと先生方は悩みがちです。そこで

私たちは、この2冊の副読本を制作しました。「情報活用スキル編」では、学習に必要なスキルを項目別に整理し、学習活動を通して身に付けていきます。「情報社会探究編」では、そのスキルを組み合わせさせて使い、社会の問題を発見し、解決に取り組んでいくプロセスを示しています。

情報活用能力は、子どもたちが社会に出た時に必要不可欠な力です。この副読本を使って、日常的・計画的に情報活用能力を育ててほしいと思います。

単元構成

スキル

情報活用スキル編

様々な学習に必要な情報活用のスキルを身に付けるための学習活動を掲載しています。

	単元名
1	写真や動画でさつえいしよう
2	キーボードで入力しよう
3	クラウドを使おう
4	情報を集めよう
5	情報を読み取ろう
6	情報を整理しよう
7	表やグラフで表そう
8	プレゼンをしよう
9	いろいろな方法で伝えよう
10	SNSを使おう
11	プログラミングをしよう

探究

情報社会探究編

身に付けたスキルを組み合わせさせて使い、社会の様々な問題を解決するプロセスを学びます。

	単元名
1	身の回りにおけるコンピュータ
2	情報社会での買い物
3	情報発信の光と影
4	プログラミングで課題解決
5	情報社会と権利

問い合わせ

株式会社学研教育みらい
小中教育事業部

〒141-8416 東京都品川区西五反田2-11-8
TEL.03-6431-1151

学研 学校教育ネット

<https://gakkokyoiku.gakken.co.jp>

